

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【公開番号】特開2004-240971(P2004-240971A)

【公開日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-033

【出願番号】特願2004-26593(P2004-26593)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/038 (2006.01)

G 0 6 F 1/32 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/033 3 4 0 D

G 0 6 F 1/00 3 3 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月22日(2007.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力装置であって、

手検知システムと、

前記手検知システムに接続され、前記手検知システムが出力する電気的特性を検出するウェイクアップ検出器であって、検出された前記電気的特性のレベルが既定のしきい値を超過した場合に、前記ウェイクアップ検出器に接続されたマイクロコントローラに通知するべく適合されているウェイクアップ検出器と、

を有することを特徴とする入力装置。

【請求項2】

前記装置は、コンピューティング装置と通信するコードレス入力装置であることを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記手検知システムは、前記入力装置のハウジングの導電性部分を有することを特徴とする請求項2に記載の装置。

【請求項4】

入力装置を動作させる方法であって、

既定の非動作期間の後に、1つ又は複数の段階で前記入力装置の各部を非アクティブ状態にし、スリープモードに入ることと、

手検知システムが前記入力装置に対して出力する電気的特性を計測し、前記入力装置に近接するユーザーの手の存在を判定することと、

計測した前記電気的特性のレベルが既定のしきい値と異なることを検出した際に、前記入力装置をアクティブ状態にすることと、

を有することを特徴とする方法。

【請求項5】

前記既定のしきい値は、適応的に調節可能であることを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項6】

入力装置であって、

前記入力装置の加速度を検出するべく適合され、前記加速度を検出した際に割込み信号を出力するべく構成された加速度計と、

前記加速度計に接続され、前記加速度計から出力される前記割込み信号を受信するマイクロコントローラであって、前記割込み信号を受信した際に前記入力装置をウェイクアップするべく構成されているマイクロコントローラと、

を有することを特徴とする入力装置。

**【請求項 7】**

前記加速度計は、MEMS 加速度計であることを特徴とする請求項 6 に記載の入力装置。

**【請求項 8】**

前記入力装置は、コンピュータと通信するべく適合されたポインティング装置であることを特徴とする請求項 6 に記載の入力装置。

**【請求項 9】**

入力装置であって、

第 1 信号周波数のクロック信号を供給するシステムクロックと、

前記システムクロックに接続されており、前記クロック信号を分周して周期を拡大することにより、前記クロック信号を第 2 信号周波数に低下させるべく構成可能なクロック分周器と、

前記クロック分周器に接続されたマイクロプロセッサであって、アクティブモードにおいては、前記第 1 クロック信号周波数で動作し、スリープモードにおいては、前記第 2 信号周波数で動作するマイクロプロセッサと、

を有することを特徴とする入力装置。

**【請求項 10】**

前記入力装置は、コンピュータのマウスであることを特徴とする請求項 9 に記載の入力装置。

**【請求項 11】**

入力装置であって、

コンピュータシステムからの通信を受信するべく適合された信号受信機と、

前記信号受信機に接続されており、前記コンピュータシステムをリスンし、前記入力装置をスリープモードからアクティブ状態にすることにより、前記コンピュータシステムからの問合せに応答するべく適合されたマイクロコントローラと、

を有することを特徴とする入力装置。